

# 令和6年度泉小学校の教育活動に関するアンケートのまとめ

令和7年3月

大変お忙しい中、「令和6年度 泉小学校の教育活動に関するアンケート」にご協力をありがとうございました。その結果やご意見、今後の方向についてお知らせします。数値は「4段階評価」の平均値です。(4できている 3だいたいできている 2あまりできていない 1できていない)

## 【考えやりぬく子】(授業や学習の様子、学習環境、読書について)

**保護者…3.27 児童…3.26**

昨年度と比較して、保護者(0.06ポイント)・児童(0.07ポイント)とも、わずかに低下しましたが、⑦「家庭学習の習慣」については、保護者・児童ともに0.1ポイント上昇しています。児童の意識の向上だけではなく、保護者の皆様のご協力の賜物であると考えています。引き続き、家庭学習が充実するよう学年の発達段階に応じて策を講じていきます。

その一方で、児童は4項目が減少しており、とりわけ昨年度良好であった④「仲間と意見を交流し問題を解決」については0.5ポイント減少しました。本校は、「仲間と学び合う学習」に重点を置き、子どもたちが主体的に学び、学力を付けるとともに、互いに協力し合い高め合う人間関係を育てることをめざしています。仲間と関わるよさ、「できる」「わかる」楽しさが実感できるような授業づくりに取り組んでいきます。

## 【思いやりのある子】(学校生活、いじめ防止・対応、相談、挨拶について)

**保護者…3.32 児童…3.44**

保護者(0.06ポイント)・児童(0.1ポイント)ともに上昇しています。⑫「あいさつ」については、にこほか委員が校内の挨拶活動を牽引しています。また、毎月の「にこほかあつさつ運動」では、学校のみならず、保護者や学校運営協議会を中心に地域の方々にもご協力いただき、あいさつの輪が広がっています。今後の一層の向上をめざし、取り組んでいきます。児童からは⑨「友達と仲良く」⑩「差別やいじめをしない」の項目で上昇するなど、日常的によりよい仲間関係づくりを意識した生活の積み重ねや、11月下旬から12月上旬に実施した「ひびきあい週間」の活動内容が有効であったと考えます。

## 【じょうぶな子】(基本的な生活習慣、外遊びや運動、健康な生活、安全な登下校について)

**保護者…3.38 児童…3.48**

保護者は(0.02ポイント)上昇、児童は(0.02ポイント)低下しました。⑬「朝食の摂取率」や⑭「生活習慣」も引き続き良好であることが、児童の活力や健康につながっていると考えます。⑯「外遊び・運動」については、体育の授業やクラブ活動で、運動量を意識したプログラムを導入し、体を動かす楽しさを実感できるよう工夫します。さらに、冬季の縄跳びなど季節に合わせた委員会活動も企画し、子どもたちが年間を通じてバランスよく運動できるようサポートしていきます。

## 【学校全般について】(学校の対応、環境、発信、満足度について)

**保護者…3.3 児童…3.42**

保護者は(0.08ポイント)低下・児童は(0.08ポイント)上昇しました。児童は4つの項目(⑱⑳㉑㉒)で上昇しており、安心して充実した学校生活を送っていると感じている児童が増えています。しかし、「そうではない」と感じている児童に寄り添っていくことを大切にしなければならないと考えています。保護者や地域の皆様におかれても、安全・安心な学校であるよう、迅速で親身な対応を心がけ、問題があれば迅速に改善策を講じます。また、学校での取組や重要な情報については、適切に発信していきます。保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力を得ながら、よりよい学校づくりを進めていきたいと思っております。

## <ご意見より>

### 1 【学習 (iPad) に関するご意見】

「漢字ドリルや計算ドリルをやった場所をチェックするがんばり表が、今学年になってからなくなったので残念です。子どものやる気アップや親もどれだけ取り組んだのかが分かるので来年度はあるといいなと思います。」「連絡帳は学校からロイロに送られて来て便利だとは思いますが、自分で書く事も大切なのでは、と思います。」…他にも学習に関わるご意見を複数いただきました。

#### 学校より⇒

ドリルのチェック表やがんばり表は学年毎の有無はありますが、学年の発達段階を考慮し、次年度のスタートに向けて改めて検討します。また、学校からのロイロを活用した連絡については、利便性の高さをご理解していただいている一方で、筆記能力や手書きの重要性も見直されています。手書きは、脳の記憶や理解において重要な役割を果たすと言われていています。学校では手書きとデジタルのバランスを取るよう考えています。例えば、ノートや作文なども位置付け、手書きの習慣を維持したり、デジタル機器を使う際も手書きでノートやメモ取りをしたりするようにしていきます。

また、学力向上につきましては、本校の実態と今後の取組を、11月の学校報でお知らせしました。(以下、抜粋)

○本校では、日常的に教科授業でロイロノート（学習支援アプリ）を活用したり、算数の授業で GIFU ウェブラーニング（個別の進度や習熟度に応じた算数学習支援アプリ）を位置付けたりしたことがこのような結果につながったと考えています。今後も ICT の有効な活用方法を工夫して「個別最適な学び」や「協働的な学び」を実現し、児童が主体的に学ぶ授業づくりに努めていきます。〔中略〕  
ご家庭におかれましても、家庭学習の習慣や生活習慣の向上につながるような声かけをお願いします。家庭学習として、その日の授業で取り組んだ内容を復習する、その際、ロイロノートや GIFU ウェブラーニングを活用するなどして、学習内容の定着を図りたいと考えています。

「GIFU ウェブラーニング」は算数の学習に特化したアプリではありますが、個別の学習進度や苦手な分野が把握しやすく、一人一人に応じた学習を進めやすい仕様となっています。家庭でも本アプリからお子さんの理解度や進捗状況を見ていただくことができます。学校で学んだことを家庭でも取り組み直す（復習する）習慣づくりに、学校とご家庭とで協力して取り組んでいきたいと思ひます。

「家で学校の iPad から NHK 動画などをよく見ており、つい長い時間見てしまうので目が悪くならないか考えてしまう。」「用がない時は iPad を片付ける習慣を身につけさせたいです。」「タブレットは毎日持って帰る必要あるのかなと思います。子どものランドセルの重さが気になり、姿勢にも影響はないか心配になります。」「iPad を持ち帰っても時間割の確認と充電しかしていないので、積極的に活用できるような宿題を出してほしいです。」「夜、連絡内容を確認したくても(子供が就寝後)、21時以降は見られなくなるので、困ってしまう事もあります。」

#### 学校より⇒

令和元年から、国の政策として教育のデジタル化を進めるために、全国の小中学校に1人1台の端末の貸与が始まりました（GIGA スクール構想）。コロナ禍を経て、リモート授業のノウハウも確立されました。現在、ICT を活用した学習環境の整備が進み、毎日の授業で活用しています。授業の形態や学び方が変わり、児童一人一人の学びをサポートしています。こうした成果の一方で、ご意見にもあるような課題点もあります。特に iPad の家庭への持ち帰りにつきましては、視力の低下やカバン重量の増加、家庭での使用頻度や使用方法等、保護者のご懸念については最もであると理解しています。タブレットの持ち帰りについて、昨年度のアンケートでもご意見をいただき、今年度は学年ごとに必要に応じてその都度判断しています。やむを得ない理由で欠席する場合や学級閉鎖等の際、リモート授業の対応も可能であり、状況に応じて持ち帰りを検討します。

他にも、健康面やネットトラブル等のリスクにつながらないように、予防策や適切な使用方法等について、引き続き養護教諭や生徒指導主事、ICT 担当、担任で連携し、計画的かつ継続的に指導していきます。iPad が 21 時以降繋がらないのは、土岐市内の小中学校統一の設定であり、デメリットへの対策でもあります。

現在使用している iPad は 5 年が経過したため、バッテリーの劣化や容量不足等の問題が頻発しています。令和 8 年度には新しいタブレットが導入される予定ですので、あと 1 年大切に使用するよう指導していきます。iPad の使用に関してご心配がある場合には、遠慮なく学校までご相談ください。

## 2【生活に関するご意見】

「授業参観の時に感じましたが、各教室が壁で仕切られていないのは落ち着かない様に思います。」  
「生徒数の割にトイレが少ない。」（その他、施設に関わって）

### 学校より⇒

現在の校舎となって 20 年が経過しましたが、本校に初めて来校される方からは「教室の壁がなく、開放的な環境ですね。」といった感想をいただくことが多くあります。教室の壁がないことで、視界を遮るものが少なく、職員が多くの目で児童の様子をよく見ることもできます。学年が一つのフロアになっていることで、学年としての成長を意図した教育活動が行いやすいメリットもあります。しかし、ご意見にあるように、他学級の音が聞こえるなどのデメリットもあります。教室間を完全に仕切るだけの間仕切りが設置されていないので、現状は可動式の児童ロッカーを仕切りとしていますが、よりよい学習環境になるよう、可動式の壁やロッカーのレイアウトを工夫していきます。

トイレの増設については、現状では難しいとのこと。現在、老朽化も進んでいますので、より快適な環境を提供できるよう、和式トイレの洋式化等、改修要望を出しているところです。

他にも「保護者駐車場（砂利駐車場）の増設要望」もいただきましたが、これ以上の拡張は難しいです。日常的に、登校時（朝）の利用率が大変高い状況にあります。学校としては、徒歩での登校をお願いしています。怪我等、特別な場合の送迎による駐車場不足や交通渋滞を避けるために、また、周辺道路の安全を確保するために、引き続きご理解とご協力をお願いします。

「すぐーる」の配信を含めた学校からのお知らせについて「授業で使う材料などを持参する場合」「期日がある提出物がある場合」「早めに行事の予定を周知」「学校報や学年便り等の通信、校外学習や宿泊研修の様子」等のご意見をいただきました。

### 学校より⇒

授業で持参する材料等がある場合は、児童へ伝えるとともに、必要に応じて学年担当からメールでお知らせしています。材料等の準備につきましては、ご準備いただく期間もこれまで以上に考慮し、早めの配信を心がけます。また、行事等の事前周知につきましては、「年間の行事予定」を 4 月の P T A 総会資料に載せていますので参考にしてください。また、学校報には 2 カ月分の行事予定を、学年便りには時間割や行事に関する予定等、詳細な内容を掲載していますのでご覧いただき、必要な場合はお問合せください。

昨年度もご要望がありました「学校報や行事の様子の写真等すぐーる配信」につきましては、個人が特定される可能性があるなど、近年扱いが大変慎重になっています。通信等ではなるべく児童が特定されず活動が伝わるような写真を選ぶようにしています。引率先からリアルタイムに写真を発信することは、掲載不可の児童の確認が難しいことから、今年度も見合わせました。

安全委員の報告に関わる対応について。通学路の危険場所、改善要望に関するご意見

### 学校より⇒

安全委員の皆様から提出していただいた内容をもとに、要望資料を作成し、市の担当課へ提出しまし

た。12月に、要望のあった場所へ関係者（学校・教育委員会・警察・土木課）が出かけて確認しました。白線の引き直しや視界を遮るような不要物の撤去など、比較的対応しやすいものもあれば、地権者の理解が必要であったり費用が高額になったりと、要望が通りにくいものもありました。今回の現場確認において話題になった内容を掲載します。

・信号機の設置

…交通量、前後の信号機との距離、道路の形状等によって判断される。また、歩行者用の押しボタン式の信号は普通の信号よりもさらに設置が難しい。（設置費用・維持費が高額）

・横断歩道の設置

…歩行者の利用頻度、前後の横断歩道との距離、道路の形状等に加え、横断歩道の前に待機場所となるスペースを確保できること等が条件に加わる。

・歩行者用のカラー塗装…現在緑色での塗装は行っておらず、赤色での塗装となっている。

・要望の仕方

…以前に通らなかった場所について、再度要望したい場合は①周辺の情報に変化があった②別の対策を要望するなど、前回とは異なる内容で要望を提出する。

※要望が通らない場合は、市教委が児童の安全を確保するよう相談にのるとのことです。

以前、安全委員の皆様からいただいた要望につきまして、十分な対応に至らずご心配やご迷惑をおかけしたことがあり、大変申し訳ございませんでした。今年度は、12月の現場確認の内容を担当課で整理した後、学校に対応が示されます。安全委員の皆様とも共有しますので、今しばらくお待ちください。

### 3【行事に関わるご意見】（運動会について）

「運動会では観覧が入れ替わりされず、学年ごとのリストバンドが機能していなかった。皆がルールを守るようにしていただきたいです。」「会場のレイアウトの再考」「運動会の種目で怪我のリスクの高い種目を避け、練習を重ねて完成度の高くなるような種目で検討いただきたいです。練習で転んで怪我をして帰って来て、少しくらいの怪我は仕方ないと思いますが、悪気はなくても、怪我をさせてしまっは、お互いにやりきれないです。」

#### 学校より⇒

運動会の「観覧マナー」「会場レイアウト」については、PTA評議員会の皆様からいただいたご意見にも同様の内容がありました。次年度に向けて、PTA本部役員会や校内運動会実行委員会でも改善案について検討していきます。

各種目については、本年度も安全面には十分考慮して実施しましたが、ご意見にあるようにリスクも考えられます。運動会での種目選びについて、怪我のリスクがあるものに関しては慎重に検討する必要があると、私たちも強く感じております。次年度の種目につきましても、過去に発生した事案も踏まえ、児童の安全が担保できるよう審議し、練習時にも十分な指導を行うようにします。また、練習により完成度が高くなるような、安全で楽しめる内容を検討していきます。ご理解とご協力をお願いします。

資源回収は持ち込み式にしてほしい

#### 学校より⇒

年2回の資源回収の際には、子ども会育成者、PTA評議員をはじめ、参加の皆様の多大なご協力のおかげで無事に運営できています。心より感謝申し上げます。学校への持ち込み式を検討してほしいとのご提案をいただきました。実際、地域の保護者数が減少し、車の手配や回収が困難になってきた地区もあるなど課題も出てきています。一方、地域の方々からは、高齢のため持ち込みが困難で、回収型なら協力しやすいという要望があります。また、回収型の方が収益も多いため、泉3校とも現行では回収型をとっています。従来 방식을継続、または変更するのか、学校、PTA、地域、回収業者等でメリットとデメリットを踏まえ、十分に検討し、慎重に判断していきたいと思っております。

#### 4【その他、いただいたご意見より】

タブレットでは「先生方とのコミュニケーションが取れない。担任の先生や管理職の先生に相談や連絡、お願いしたいこと等が出来ない。何事もタブレットを通してということは、諸刃の剣であり、ご一考していただきたい。」

##### 学校より⇒

ご意見の通りであると考えています。大切な内容は、電話でだけではなく、家庭訪問、学校での懇談など、直接お会いして話をするようにしています。デジタル機器を有効に活用しながらも、時代が変わっても、人と人との直接的なコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。学校からも連絡をさせていただきます。遠慮なくご連絡いただければと思います。

①「図書館でどんな本を借りて読んでいるかまったくわからないので、iPadで記録するなどして親もわかるようにしていただけるとありがたいです。」

##### 学校より⇒

市内の学校でも、図書館利用の記録を保護者と共有している学校もあります。技術的にも対応可能な内容でもありますし、児童が読んだ本を家庭で話題にすることにもつながります。保護者への伝達方法（デジタル or アナログ）等、図書館担当職員・司書支援員と活用に向けて検討します。

①「子ども同士でのトラブルがあった時、被害者側には学校から説明があるのですが、加害者側の保護者にも連絡してみえるのか、気になります。些細なことでも、子ども同士のトラブルは教えてもらえたら、と思います。家でちゃんと話すことができるので、お願いしたいです。」「いじめのない学校であってほしい。言葉の暴力や、嘘をつく事は悪いことだという道徳が育ってほしい。」

##### 学校より⇒

子ども同士のトラブルにおいては、被害児童の安全や心のケアを最優先に考えて、迅速に対応し、適切なサポートを行うよう努めています。また、加害児童の保護者にも状況を伝え、再発防止に向けて指導・支援を行うなど、どちらの保護者にも情報提供をし、双方が協力して問題解決に当たるよう努めています。また、いじめに対しては、全職員が「いじめは誰にでも起こりうる」と認識し、日常の観察や心のアンケート、保護者との情報共有を活用して、いじめにつながる兆候を早期に発見し、迅速に対応できる体制を整えています。また、よさを認め尊重し合う人間関係を育むこと、居場所づくり、自己肯定感を高めることが、いじめをしない心を育む上で大切なことと考えています。普段の教科の授業や道徳、仲間との活動を通じて、意見を交流し、自分を振りながら考えを深める場を位置付けています。スクールロイヤーやカウンセラーと連携したSOSの出し方教育や相談しやすい環境づくりにも力を入れています。お子様をご家庭や学校で安心して話ができるよう、ご理解とご協力をお願いします。ご心配なこと、気になることは、どうぞお知らせください。

貴重なご意見、ご感想をありがとうございました。『子供が先生の話聞かせてくれます。先生同士とても仲が良く、聞く話も楽しい話が多くて、とてもいいなと思います。』『いつもありがとうございます。学校が楽しい、先生の授業はわかりやすいと、楽しそうに話してくれます。仲間を大切にしたい気持ちや、やりきる力が、去年よりも強くなっているように感じますので、引き続きご指導お願いします。』『学校がいやと言うことは一度もないですし、先生は優しいよって話してくれるので、いつも感謝しています。』等、大変励みとなるものもありました。一方で、どの項目についても、「できていない」「思わない」と不安を感じている児童や、「不十分である」という保護者のご意見があることも事実です。いただいた評価やご意見を真摯に受け止め、今後の学校運営や教育活動の改善に生かしていきます。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。